

「IVI・組み込み機器等のセキュリティ基礎セミナー」を開催



北陸情報通信協議会ICT安心安全部会は、総務省北陸総合通信局、一般社団法人組み込みシステム技術協会北陸支部との共催により、3月16日、自動車IVI※及び組み込み機器等のセキュリティに関するセミナーを開催しました。

冒頭、主催者を代表して、北陸情報通信協議会ICT安心安全部会の四藤一成部会長は「今年に入ってウクライナ危機に関連しサイバー攻撃が増え、トヨタ系企業への操業停止は衝撃を受けた。ICTのセキュリティ対策はますます重要になる。本日は専門家以外にもわかりやすいお話しをしていただきたい」と、組み込みシステム技術協会北陸支部の小林靖英支部長は「組み込み企業は電気機器に組み込むソフトウェアを開発しており我が国の基幹産業を支えている。セキュリティは重要であり、難しい課題があるが次の世代に向けての人材育成につながるようなお話しをいただきたい」と、それぞれ挨拶しました。

セミナーは、オンライン形式で、一般社団法人組み込みシステム技術協会技術本部組み込みシステムセキュリティ委員会、株式会社エイチアイ開発部開発三課課長鈴木隆元氏を講師に迎え、「自動車IVI開発におけるサイバーセキュリティ対策の動向と、組み込み機器等に対するセキュリティ担保事例」との演題で行われました。

前半は、専門知識がなくても理解できる内容で、開発プロセスの概要から始まり、プロセスの重要な要素となっているセキュリティ分析の考え方、お年寄りの見守りシステムやネットワークに繋がる車載セキュリティについての分析事例を説明しました。

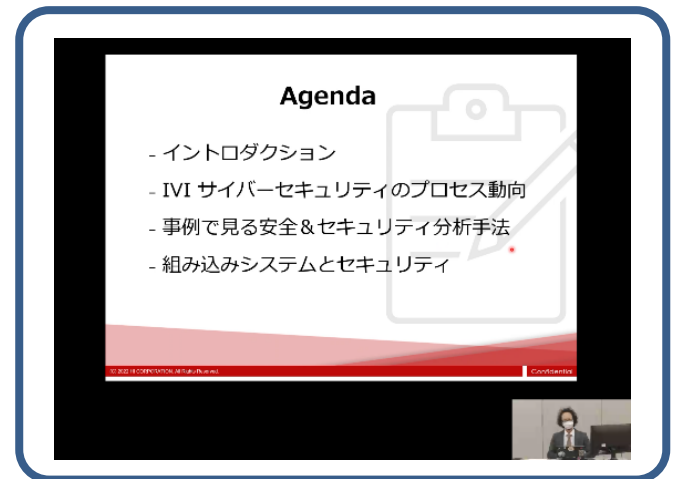
後半は、車載システムも含んだ組み込みシステムのサイバーセキュリティ対策の具体的な手法や、それを構成する技術を紹介しました。

参加者は、製品やサービスの企画、開発、運用に携わる方々を中心に、約40名がオンラインで聴講し、「続編を聞きたい」、「シリーズ化を望む」といった感想が寄せられました。

※IVI：次世代車載情報通信システム (In-Vehicle Infotainment system)



リモートで講演する鈴木氏



オンライン画面での講演模様